

平成28年度 7月号



# 新座二中だより

新座市立第二中学校  
新座市野火止 7-17-10  
電話 048-477-1212

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

## 思考力・判断力・表現力の育成を重視します

校長 田村 和昭

本校の学校課題研究の主題は、「思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業改善の研究」です。さて、これからの教育の方向性を、文部科学省は次のように述べています。

子どもたちの現状をふまえ、「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視していきます。次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けてほしいと考えています。

いっぽう、「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、ご家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが大切です。 子どもたちの未来のために。

### 本校の学力向上策と

#### 思考力・判断力・表現力

さて、私は教員に学力向上策の具体的な視点を次のように提示しています。

日々の授業の質を高め「授業が面白い」「次の授業が楽しみ」という状況をつくり出し、「頑張った」「できた」「ほめられた」という体験を積ませることが生徒の学習意欲を喚起し、学力の向上につながる。

そのための4つの柱として

- ① 学習効率向上のため学習規律を確立すること
- ② 学習の目標・内容・活動を生徒の主体的なものとする
- ③ 生徒の発見・驚き・感動・充実感を引き出す工夫点を盛り込むこと
- ④ 指導に生かすための評価を具体的にを行うこと

また、生きた学力とするための思考力・判断力・表現力の育成を目指し、道筋の第一歩として次のように指示しています。

- ・書くための手だて（要約化、明確化、焦点化）についての指導の充実を図ること
- ・メモの習慣化、ノート時間の確保、ノート点検、定期テストでの記述問題の導入等を徹底すること



### 授業観察から

日々の教室訪問や授業訪問に加え、予め教員に観察の視点を提示した上で計画的に授業観察及び授業の評価・検討を実施しています。その中から2つ紹介します。

社会の授業では、「なぜクスコ（ペルー）の住民は標高3400mの場所に住むのだろうか」の課題解決にあたり、根拠を示し説明する場面を設定していました。

国語の授業では、「俳句の情景を味わう」際、語彙について辞書をひくことで深みあるものにする工夫がなされていました。

今後も校長、教頭により繰り返し授業観察を実施し、良いところは伸ばすよう、改善すべき点は具体的な例を挙げ指導を行い思考力・判断力・表現力を育成します。

いよいよ、21日からは夏休みとなります。部活動に、2学期の準備に、さらに家族とのふれあいに充実した夏休みとなるようお祈り申し上げます。ちなみに、今年度は8月29日（月）が2学期の始業式です。